

担当事務所：飯塚県土整備事務所

主要地方道 飯塚大野城線（弁分工区） 交通安全事業(歩道設置)

1. 事業概要

1) 路線の概要

主要地方道飯塚大野城線は、飯塚市飯塚の一般県道瀬戸飯塚線を起点とし、大野城市山田2丁目の一
般県道福岡日田線を終点とする総延長35.0kmの主要な幹線道路である。県中央部を東西方向に広域的
に連絡する国道201号（八木山バイパス）を補完する重要な機能を担っている。

2) 事業の必要性

① **安全安心な交通空間の確保**：本事業区間は、小学生、中・高校生の自転車通学等に広く利用されて
おり、歩行者や自転車の利用が多い。本事業区間の南側は歩道が整備されているが、北側は歩道が
未整備で路側も狭く、通行者の安全性の向上を図る必要がある。

また、本事業区間の一部は、飯塚市の通学路交通安全対策プログラムにも対策必要箇所として位
置付けられており、歩道整備に早期に着手する必要がある。

② **事故発生の抑制**：本事業区間の直近5か年の事故発生件数は33件であり、特に「(仮)弁分西交差
点」「弁分四角交差点」における事故発生件数は23件で全体の約7割を占めている。交差点部を改
良し、右折車線を設けることで、安全安心かつ円滑な交通空間を整備する必要がある。

3) 事業により期待される効果

① **安全安心な交通空間の確保**：両側に歩道を整備し、路側に自転車通行空間を確保することにより、
歩行者及び自転車の安全性の向上を図ることができる。

② **事故発生の抑制**：交差点部に右折車線を設けて直進・左折交通と右折交通を分離することで、交通
事故の抑制を図るとともに、交通混雑の緩和が期待できる。

2. 現道の状況

自動車交通量：11,612台/日（R4年11月調査）
自転車交通量：83台/12h（R4年11月調査）
歩行者交通量：77人/12h（R4年11月調査）
通学路：学校指定
交通事故発生状況：33件（平成27年～令和元年）

3. 計画内容

箇所名：飯塚市弁分
延長・幅員：L=500m W=6.5(14.0)
全体事業費：C=500百万円
事業着手年度：令和5年度
完成目標年度：令和11年度

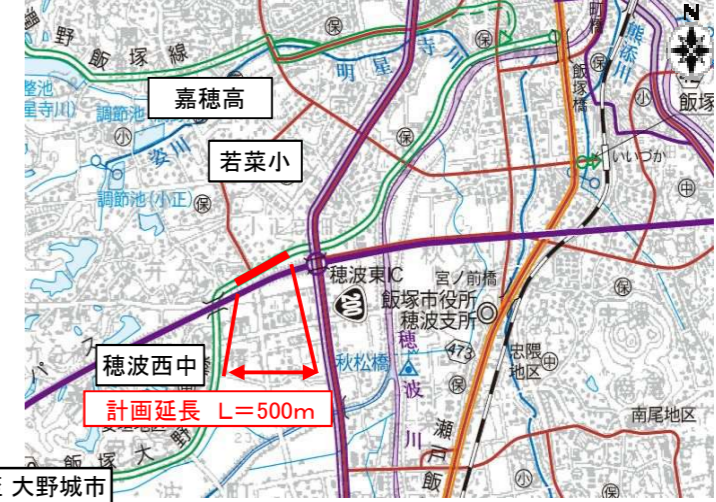
4. その他特記事項

飯塚市自治会連合会穂波支部からの要望（令和4年3月9日）
飯塚市からの要望（令和4年9月1日）

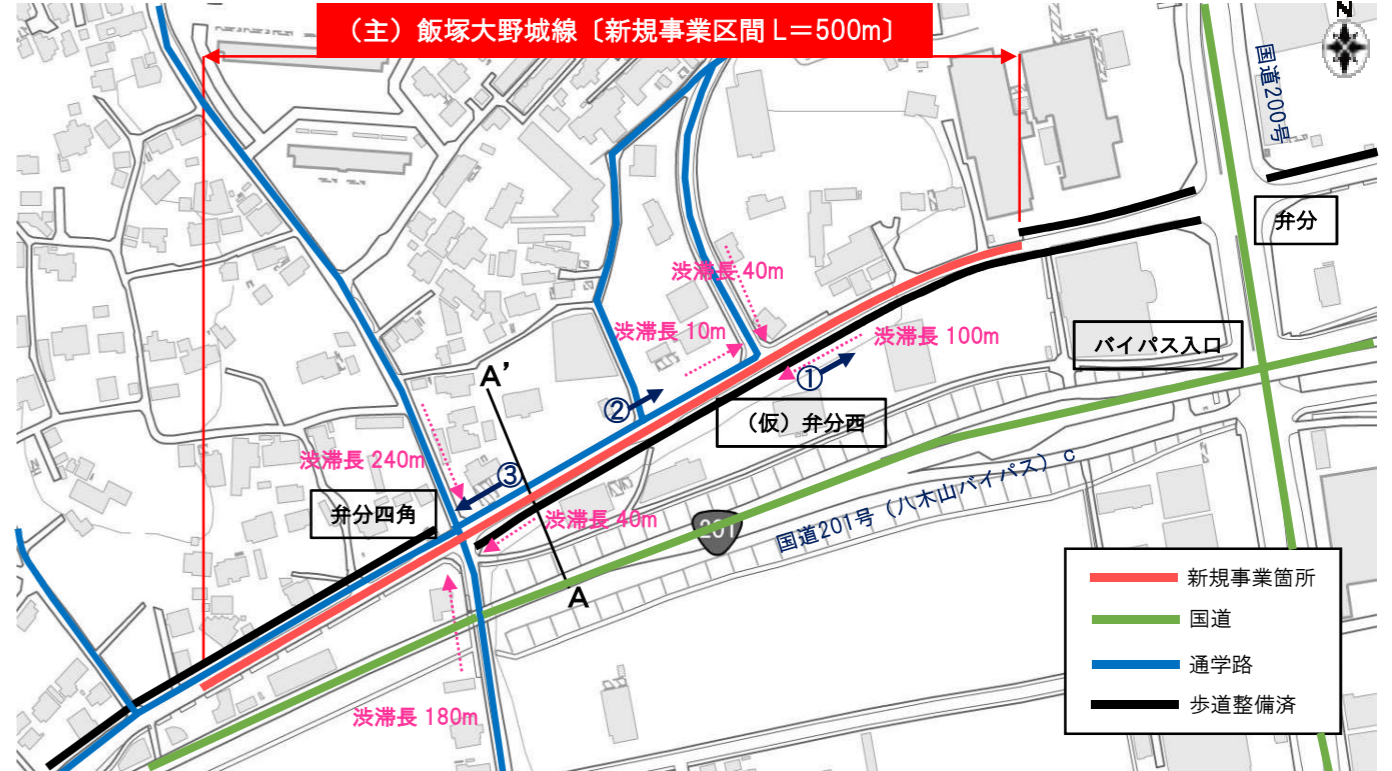
【位置図】



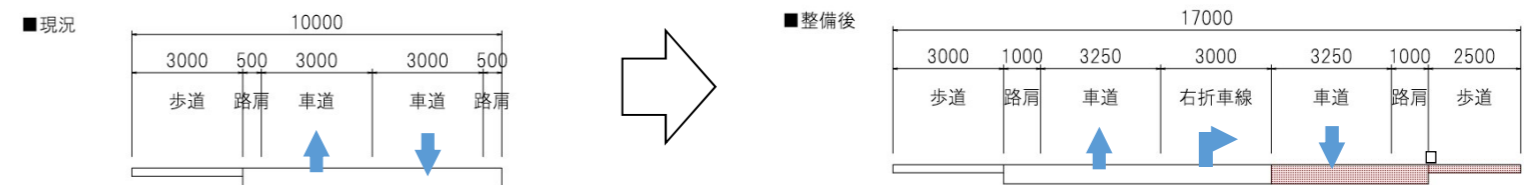
【管内図】



【平面図】



【標準横断面】 (A-A')



①交通状況



②通学状況（歩行者）



③通学状況（自転車）

